

野球 第99回全国高等学校野球選手権滋賀大会

準決勝 彦根東 5-2 水口

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
水口	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
彦根東	0	0	0	0	0	3	0	2	X	5



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

難敵水口下し いざ決勝へ



◀6回裏、適時打を放つ吉本君



▶原功征君のサイドスローは相手打者を苦しめた。

甲子園へ王手

7月25日に皇子山球場で第99回全国高等学校野球選手権滋賀大会の準決勝が行われた。本校は水口高校と対戦し5-2で勝利を収め、決勝進出を決めた。

試合の序盤は両チームによる投手戦で、4回まで両チームとも安打がなかった。5回表、この試合初の相手の安打で無死二塁とされ、犠打とスクイズで水口高校に1点を先制された。しかし本校は6回裏、一死から2番朝日晴人君(2-4)が四球で出塁し、続く3番高村真湖人君(3-8)、4番岩本道徳君(3-5)の連打で同点に追いついた。さらに二死一、二塁として6番吉本孝祐君(3-4)の適時打で走者2人が生還し、逆転に成功した。その後、8回に1点を返されたが、8回裏の一死二塁のチャンスで吉本君の2度目の適時打で1点を追加し、途中出場の森田昂佑君(3-7)も適時打を放ち、点差を広げた。守備面では先発の原功征君(2-8)が相手打線を4安打に抑え、最後は2番手の吉本君が打者4人をしっかり打ち取って試合を決めた。

本校は夏の大会で昨年、一昨年と水口高校に敗れており、この試合でそのリベンジを果たす結果となった。

6回に同点打を放った岩本君は「自分が打たなければ夏が終わると思った。気持ちで打った」とこの一打にかけた思いを熱く話した。

2安打3打点の活躍を見せた吉本君は「先に出たバッターたちがチャンスをつないでくれたので、狙い過ぎず楽な気持ちで打てた」と振り返った。

この試合で先発投手を務めた原功征君は、これからの試合に向けて「自分たちが打てないなか、自分がいかに投手としてふんばれるが課題だと思っている」と話した。

監督の村中隆之先生は「苦しい展開だったがよく我慢して粘って勝った」と振り返られた。また決勝戦に向けては「甲子園に出場するためにやってきたので勝って甲子園に行きたい」と語気を強められた。

ついに本校は甲子園出場まであと1勝に迫った。決勝戦は7月26日に皇子山球場で行われ、近江高校と対戦する。